

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会 会報

バリュー・ステーション

目次:

JETROがタイ自動車人材育成プロジェクトでVE研修	1
青森で公共機関によるVE発表会が開催	2
本部・支部イベント開催レポート	2
訃報	6
新入会員のご紹介	7
本部・支部の事業活動報告	7
VEL育成プランのご案内	8
支部・部会活動予定	9
2014年度後期VEL試験が終了	10
2015年度前期セミナー開催予定	11

JETROがタイ自動車人材育成プロジェクトでVE研修を実施

タイ自動車人材育成プロジェクトは、2007年に締結された日タイ経済連携協定(JTEPA)に基づく協力事業の一つで、2011年よりVEを含む5分野で実施されています。狙いは、日本人専門家や日系自動車関連メーカーの協力の下、タイの自動車部品製造企業のエンジニアに対して教育訓練ができるタイ人のマスタートレーナーを養成することです。日本側は経済産業省・独立行政法人日本貿易振興機構(JETRO)、タイ側は工業省・タイ自動車研究所が主体となり運営統括しています。

VEの基礎セミナーは2012年から実施されていましたが、2014年新たに、自動車企業の様々なVE活動事例への理解と体験を通じて、VEトレーナーとしての実践力を身に付ける「VE事例研修」が始まりました。

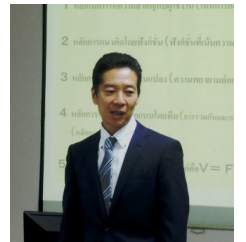


VE事例研修の様子



研修参加メンバー

日本VE協会はJETROバンコク事務所から依頼を受け、同研修の講師を派遣紹介しております。今回は、タイの拠点でVE教育と実践、そしてテア講師を務めた桑原学氏ダウン活動に積極的に取り組み、現在15名のVEL資格を持つタイ人ローカルスタッフが中心となってVE活動を展開するいすゞ自動車に依頼し、原価企画部 VE推進グループの桑原学氏(VES)が講師を担当されました。



「VE事例研修」の内容は次のとおりです。

- ①自動車企業でのVE活動事例の説明
- ②自動車部品でのVE実施事例の紹介
- ③自動車の部品を使ったワークショップの実施(チームとして2つのVE提案をまとめる)

2014年9月29日～10月3日に行われた研修の受講者は官民学合わせて25名で、受講後、「自社製品の競争力強化に非常に有効と感じた」「全ての業務プロセスに適用できる普遍的な手法と思う」「設計構想段階に使いたい」「自社内にVE推進組織を作りたい」等、VEの有効性を実感した感想を残されました。

経済産業省によると、本事業はタイ政府の関心が高く、その中でもVEに対する期待が大きいそうです。

今後、タイ自動車産業の人材育成とVEの普及定着によって、タイ経済の更なる発展と日タイの経済連携がますます期待されます。

facebook

日本VE協会のページはこちら!

<https://www.facebook.com/sjve.org>

青森で公共機関によるVE発表会が開催



講演する木守岳広氏

1月15日、全国の公共発注機関によるVE発表会が青森県庁で開催されました。

本会合は、国の機関や地方自治体、独立行政法人などの公共機関で構成される「全国設計VE推進研究会」がVEの効果や必要性を知ってもらうために毎年開催しているもので、9回目となる今回も全国から100名を超える行政関係者が一堂に会し、熱心な研究討議が行われました。

冒頭、永年にわたって公共機関のVE支援に携わっている木守岳広氏（パシフィックコンサルタンツVEセンター長・CVS）が公共事業の機能や価値をわかりやすく解説。多くの人を巻き込んで活動を共有することの必要性を訴えかけました。

続いて行われた事例発表では、青森県、静岡市、愛知県、大分県が取り組みを紹介。推進体制やアプローチ方法について活発な質疑応答が行われました。今年は業務改善の発表が多く、公共分野にもソフトVEが広がりつつあることを感じさせました。



会場の様子

ヤマトグループにおける価値創造の取り組みを学ぶ ～東日本支部が巨大物流施設・羽田クロノゲートの見学会を開催



正面から見た羽田クロノゲート全景

2月5日、東日本支部ではヤマトホールディングスが運営する日本最大級の物流ターミナル・羽田クロノゲート（東京都大田区）で定例の事業所見学会を開催しました。

「見学コースの予約は1年先までいっぱい」という超人気スポットであり、ヤマトグループが開発した最新の物流システムをはじめ、物流費削減の坎どころやライン改善のヒントが得られるということで、各社の物流部門や改善活動の担当者など40名あまりが参加。荷物の仕分けレーンや集中管理室、展示ホールを見学して理解を深めました。

同グループでは、物流を「バリューを生み出す手段」に進化させる取り組みを進めており、家電製品の修理・配送や購買業務の代行サービスなど、ユーザーの声に耳を傾けながら新しいビジネスを次々と展開しています。参加メンバーからは、『ニーズとシーズ、ウォンツを具体化するとはこういうことかと認識を新たに』『お客様が求める価値を徹底的に追及する姿勢はVEそのもの』といった感想が聞かれました。

東日本支部ではこのような会合を定期的に開催し、メンバー相互の情報交流を積極的に進めています。皆様も東日本支部の各種活動にぜひともご参加ください。



参加メンバー
（後方はウォークスルー1号機）

東日本支部が恒例の活動報告会を開催

3月2日、東日本支部（松田節夫支部長）では2014年度の締めくくりとなる活動報告会を東京・新宿のTKP市ヶ谷カンファレンスセンターで開催しました。

この会合は、支部が設置している6つの部会（マネジメント部会・VE推進部会・マーケティング部会・R&D部会・ものづくり部会・社会インフラ部会）の取り組み内容を紹介し、あわせてメンバー間の情報交流や新規メンバーの登録促進をはかるために毎年この時期に開催しているものです。部会活動に対する関心の高まりを受け、今年も80名を超える関係者が一堂に会しました。

松田支部長による概況報告に続き、「元気な中小企業に学ぶ～グローバル時代の価値創造」「最適生産・調達のあり方を求めて～現地・現場・現物から得られたもの」「VEで読み解くポーター賞企業と成功の秘訣～戦略立案にVEを！」など、日頃の研究活動の一端が報告されました。いずれも実務への応用展開を

意識した内容であり、興味を引いた参加者も多かったようです。

その後の特別講演では、サイベックコーポレーション 気鋭の若手経 平林社長 による特別講演 営者として注目されているサイベックコーポレーション（本社・長野県塩尻市）の平林功造社長が新しい「もの創り」と次代を見据えた経営戦略を紹介。『モノづくりは人づくりであることを再認識できた』『マネジメントや人材育成の参考にしたい』とたいへん好評でした。

東日本支部では、こうした取り組みを通じて参加各社のVE導入・活性化の支援と新技術の研究開発、さらにはメンバー相互のスキルアップを積極的に進めています。皆様も東日本支部の部会活動にぜひご参加ください。



挨拶をする松田支部長



80名を超える関係者が参加

発注者・設計者・施工者によるチームデザイン ～中部・建設VE研究会の取り組み～

東海エリアでは、VEおよびVE関連技法を一つ取り上げ、自社への導入・展開を後押しする「VE技術情報交流会」を通じてVE技術者のスキルアップ支援を行っていますが、このような一話完結型イベントのほか、建設業にマッチしたVE技法の開発と普及定着を目的とした研究活動も積極的に推進しています。

それが1995年に発足し、20年近くわたって建設VEのあるべき姿を追求している「中部・建設VE研究会」です。発足当初はゼネコン関係者が中心でしたが、現在では行政機関や建設コンサルタントも参加。発注者・設計者・施工者が一体となり、チームデザインによってVE活用の方策を議論するという全国でも例を見ない取り組みということで、マスコミ関係者からも注目を集めています。

今年度は愛知県の総合ディベロッパー、アイシン開発の日比恒氏(VES)が主査を務め、フジタ本社の松田節夫氏(CVS)と須山建設の荻野祐一氏(VES)



課題検討のプロセスは絶えず見える化

がアドバイザーとして技術面をサポート。『簡単に無理なくVEを適用するしくみ・ツールづくり』をワークショップ形式で検討しています。

『VE活動の導入や活性化をはかりたい』『VESやCVSにステップアップしたい』といったニーズをお持ちの方は、本研究会への参加をぜひともお勧めします。建設業以外の方のご参加も大歓迎です。参加資格や会合の開催予定など、詳しくは協会事務局までお気軽にお尋ねください。



業種の垣根を越えたチームデザイン



ワークショップ形式による課題討議

西日本支部 東海地区で 「これならできるSWOT分析の活用」を開催



講師を務めた佐々松音氏

2月6日、西日本支部（東海地区）では定例のVE技術情報交流会を名古屋市内で開催しました。

この会合は、VEおよびVE関連技法から関心の高いテーマをセレクトし、簡単な演習と全体討議によって自社への導入展開を後押しするもので、8回目となる今回は戦略立案ツールの代表格である“SWOT分析”を取り上げ、VEとの相互連携について理解を深めていただきました。

社長を務めた企業でSWOT分析とVEを駆使し、リーマンショックで落ち込んだ業績をV字回復させた実績のある佐々松音氏（MSバリューコンサルタント代表、CVS）が講師を担当。豊富な指導経験をもとに、SWOT分析の概要やアイデア発

想のポイント、機能系統図への展開方法など、SWOTを「分析」で終わらせないためのノウハウをわかりやすく解説いただきました。

東海地区では、このような会合を通じて各社のVE活動推進を積極的にサポートしております。皆様も東海地区の各種活動にぜひともご参加ください。



グループ演習の一幕

西日本支部が「第46回VE関西大会」を開催 ～イノベーションとVE～



会場の様子

西日本支部（関西地区）では2月13日、大阪市天王寺区の大阪国際交流センターにおいて、第46回VE関西大会を開催しました。本大会は、「イノベーションとVE」をテーマとし充実した内容となりました。

西日本支部の江原学支部長（西日本旅客鉄道）の開会挨拶に始まり、中央大学大学院客員教授の小林三郎氏より、どうしたらイノベーションが産み出せるのか、創造的な人と組織をいかにして創るかなどについて、熱くご講演いただきました。

続いては、三菱日立パワーシステムズ赤城弘一氏より、日本と風土の違う中国においてVEを効果的に実施する方法について事例を交えご紹介いただきました。

休憩を挟み、午後の部最初の事例紹介では、三菱電機神田雅生氏より、開発段階において製造技術を織り込んだ事例について、自身で作成されたチェックリストを交えご紹介いただき、続いてシャープ行本知仁氏より、モノクロ複合機の高画質化と環境負荷低減を両立させたVE事例をご紹介いただきました。

また本大会では、事例紹介の時間に別ルームにてVE推進者のための特別セッションを開催しました。VEの導入、定着、活性化に向け、パネリストに企業での成功事例などをご紹介いただきながら、参加者と一緒に議論を深めました。

原価企画フォーラムでは、原価企画活動を実践し成果を上げている企業をパネリストへお迎えし、「組織」「管理」「環境」をキーワードとし、原価企画活動定着・活性化のヒントを探りました。

最後は、神戸大学大学院教授小川進氏の技術講演。消費者能力や環境の変化を背景に、消費者革新が企業に対してイノベーション機会を豊富化していることを解説いただき、今後のものづくりの方向性、可能性について示唆に富むお話をいただきました。



中央大学大学院客員教授
小林三郎氏による基調講演



特別セッションの様子

西日本支部が「VEの基本と実践セミナー」を開催 ～2014年度「広島地区VE塾」成果発表会～



会場の様子



マツダ(株)野見山氏による
成果発表



西日本旅客鉄道(株)田原氏
による成果発表

2月17日、西日本支部(中四国・九州地区)ではマツダ(株)殿協力会センターにおいて『VEの基本と実践セミナー』を開催しました。

本セミナーは、2014年7月に開講した広島地区VE塾の成果発表などを通し、広島地区におけるVEの普及及び活用促進を目的に毎年開催しているもので、当日は約100名の方々が参加され、多いに盛り上がりました。

午前の第一部では、マツダのものづくりや歴史がわかるマツダミュージアムを見学させていただきました。

午後の第二部では、広島地区VE塾若林真一副塾長のVE塾概要紹介に始まり、その後吉原技術士事務所の吉原晴男氏から、VEの価値向上の考え方と活用のポイントについて、わかりやすく解説いただきました。

休憩後は、約半年にわたって取り組んだ2014年度広島地区VE塾の成果発表。マツダ(株)野見山龍介氏より、フロントガラスにセンサーを固定するSCBSブラケットにVE手法を適用し、車種ごとに異なる製品の共通化を図りながら、原

価低減を実現した事例をご紹介いただきました。問題点を克服しながらVE活動を進めた熱意が伝わるすばらしい内容

でした。続いては、西日本旅客鉄道(株)田原潤一氏より、駅ホーム上の安全性向上にVEを活用した事例を紹介いただきました。

最後は、(株)デンソー北谷佳彦氏の技術講演。原価企画活動の中で、VE活動をいかに有効的に実施しているか、活動強化のために、実践者及び推進者の両方へのVE教育を工夫を凝らし行っているお話は、参考になった参加者が多かったようです。また、VE活動で成果を出すためには教育が必要不可欠であることをあらためて認識させられる講演でした。



(株)デンソー北谷氏
による技術講演

VELフォローアップ研修 「原価企画の進め方」を開催

2月9日、日本VE協会大会議室においてVEL限定セミナー「売れて・もうかる新商品・サービスを生み出す！」原価企画活動の進め方」を開催しました。今年度スタートしたVEL継続教育・実践支援プログラム「VEリーダーフォローアップ研修」第4回目の開催です。講師は、株式会社RKコンサルティング代表取締役社長の丹澤一昭氏(CVS)です。

原価企画推進者としての実務経験と豊富なコンサルティング経験に基づく実践的な内容で、「売れて」「もうかる」をキーワードに原価企画の概要をわかりやすく解説いただきました。また、原価企画推進上の問題点とその変革活動の進め方など具体的な解説の後、原価企画ツ-

ルの活用方法を、演習を通じて体験しました。

参加者からは、「とても参考になった。早速社内展開を図りたい」「今回は短時間だったが、1日コースも開催してほしい」などの声が聞かれました。



演習の一コマ



丹澤一昭氏による講義

「1日でわかる改善マインド入門」を開催



澤口学氏による講義

2月24日、日本VE協会では「1日でわかる改善マインド入門」セミナーを協会大会議室（東京都世田谷区）において開催しました。本セミナーは、3大管理技術IE、QC、VEの基本的なマインドを理解して、サービス分野、ビジネス全般に活用するセンスを身につけることを目的に開催したものです。

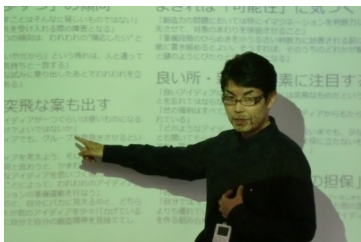
講師は、早稲田大学創造理工学研究科教授の澤口学氏（CVS）です。

セミナーは2部構成で行われ、第1部では「改善活動に必要な創造的問題解決

力」をテーマに改善とは何か、創造的問題解決能力とは、改善活動で求められる問題解決能力などについて演習を交えながらわかりやすく解説されました。

第2部「改善活動で役立つ管理技術」では、IE、QC、VE手法それぞれの特徴の解説が解説された後、身近なテーマを題材としたチーム演習を行い、3つの管理技術の必要性和マインドについてさらに理解を深めました。

「アイデア創出ワークショップ中級編」を開催



石井力重氏による講義

3月6日、日本VE協会大会議室において「アイデア創出ワークショップ中級編」を開催しました。2011年に開講したアイデア創出ワークショップは、今回で7回目の開催となります。講師は、第1回目より担当いただいているアイデア創出支援の専門家で発想支援ツールクリエイターの石井力重氏（アイデアプラント代表）です。

今回の中級編では、セルフX（TRIZ系手法）、USITオペレータ（TRIZ系手法）、エクスカージョンの3つの技法が取り上げられました。

製品の価値を高める新アイデア創出技法として「セルフX」が事例を交えて紹介され、身の回りにある製品を題材に発想ワークを行いました。

次に「Brainstorming Card」を使いなが

らブレインストーミングのウォーミングアップを行いました。グループ対抗のゲーム形式で行われ、笑い声が絶えず大変盛り上がりしました。

その後、ブレインストーミングのルールについて、原典の記述の紹介、さらにその根底にある内容が図解でわかりやすく解説されました。続いて改良アイデアの創出技法として、「USITオペレータ」が紹介され、発想ワークに取り組みました。

最後は、生物をまねて着想アイデアを得る技法「バイオミクリー」が紹介されました。そのバイオミクリーとノート発想技法「エクスカージョン」を掛け合わせた「バイオミクリー版エクスカージョン」をワークで体験し、4時間のワークショップは終了となりました。



演習の一コマ

奥川価値向上研究所 奥川博司氏 CVS ご逝去

去る2月25日、奥川価値向上研究所・代表の奥川博司氏（元・マツダ株式会社、CVS）がご逝去されました。享年72歳でした。

奥川氏は、永年にわたり日本VE協会西日本支部運営委員、研究開発委員会委員などを歴任されたほか、「感性分野へのVE適用開発研究会」主査として研究報告書をまとめられ、また多数の講演・発表、支部活動等を通じて西日本支部および当会の発展、VEの普及に大きな貢献をされました。

1999年には、その功績により「普及功労賞」を受賞され、最近では、広島地区VE塾の塾長として活躍されていました。

永年にわたるご尽力に深謝申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



在りし日の奥川博司氏

新入会員ご紹介

●賛助会員(個人)

内田 佳代 様 VES
西岡 昭彦 様 VEL
森 幸男 様 VES

本部・支部の事業活動報告(議事録サマリー)

●バリュー・マネジメント・アカデミー (VMA)

1.日時:2014年12月19日(金)15:00~17:15

2.会場:日本VE協会 小会議室

3.出席者:6名

4.議事:

4.1 FASTについて

(1)議論

- ・系統図との比較について
- ・系統図の追求について

(2)結論

- ・“VMAでどこまで・どうやるのか”について、引き続き検討することとした。

1.日時:2015年1月28日(水)14:30~17:45

2.会場:日本VE協会 小会議室

3.出席者:8名

4.議事:

4.1 FASTについて

(1)議論

- ・“VE普及のための3本柱”について
- ・機能系統図の日本で標準となり得る基準について
- ・実践に役立つツール・資料をどう作るのかについて

(2)結論

- ・VE誌になるべく早い時点で載せる前提で、分析結果にどのようなプラス・アルファができるかを次回検討。
- ・機能分析という領域は研究する余地がまだまだありテーマ候補の一つとなり得るが、以前挙げたテーマ候補についての議論を優先させる。

4.2 VEの裾野拡大について

(1)議論

- ・いろいろな手法(例: QFD等)を使っている人達との連携。
- ・業界団体にPR。
- ・『CVSフォーラム委員会』では、商店街等に働きかけてVEを普及させていこうとしている。
- ・上記委員会の委員長に次回出席してもらい、情報交換ができれば良いのではないかと。

(2)結論

- ・『CVSフォーラム委員会』の委員長に次回VMAへの出席を依頼し、出席が可能であれば裾野拡大を同委員会でのどのようにやる予定なのかを聞く。

1.日時:2015年2月19日(木)14:35~18:20

2.会場:日本VE協会 小会議室

3.出席者:8名

4.議事:

4.1 FASTについて

- ・分析結果は元々の研究テーマのための基礎データとするに止め、議論は今回で終わりとする。
- ・“系統図作成方法の改良”という課題は、“VEの裾野拡大”等について議論する際にもテーマの候補として意識する。

4.2 第42回「本部企画委員会」について

- ・VMAからの報告内容を纏め、報告用資料を作成した。

●第37回公共事業のVM研究会

1.日時:2015年2月9日(月)15:20~16:25

2.会場:日本VE協会 小会議室

3.出席者:4名

4.議事:

4.1 公共事業におけるVEの普及方法について

(1)議論

- ・“VE手法の簡素化”について
- ・この研究会では“簡素化”や“技術(実践ノウハウ)伝承”をやるのが良いのか?

(2)結論

- ・ワークシートとVEのステップ、何が省略できるかを次回検討し、簡素化についてのたたき台を作る。

●第91回 CVSフォーラム委員会

- 1.日時: 2015年1月16日(金) 14:00～17:00
- 2.会場: 日本VE協会 大会議室
- 3.出席者: 10名
- 4.議事:
 - 4.1 初めてVEを学ぶ人向けの「新しいVE資料」について
 - ・前回に続き、「(仮称)VEカード」の具体化について検討。
 - 4.2 第7期の総括と第8期の計画について
 - ・“第7期総括のため、及び第8期計画についての会合”開催について、次回検討する予定とした。
 - 4.3 2015年度の委員会開催日について
 - ・次回、正式に決める予定とした。

●第92回 CVSフォーラム委員会

- 1.日時: 2015年2月12日(木) 14:00～17:00
- 2.会場: 日本VE協会 大会議室
- 3.出席者: 8名
- 4.議事:
 - 4.1 2015年度の委員会開催日について
 - ・基本的に月一回開催と決定した。
 - 4.2 初めてVEを学ぶ人向けの「新しいVE資料」について
 - ・前回・前々回に続き、「(仮称)VEカード」の具体化について検討。
 - 4.3 第7期の総括と第8期の計画について
 - ・委員長から第7期総括と第8期計画について説明。
 - ・来期の計画は、次回以降に決める予定とした。

●第75回VE誌編集委員会

- 1.日時: 2015年1月30日(金) 10:30～17:00
- 2.会場: 日本VE協会 大会議室
- 3.出席者: 13名
- 4.議事:
 - 4.1 事務局長からの報告・連絡事項
 - 4.2 2014年度後半のVE誌編集実績の報告について
 - ・2014年度後半のVE誌編集実績について事務局より報告された。
 - 4.3 2015年度の編集企画案について
 - (1)「使いやすいTRIZ研究会」の研究会報告について
 - (2)「日本VE協会創立50周年」に向けての企画について
 - (3)CVSからの提案資料の件について
 - (4)編集アイデアについて
 - (5)VE訪問について
 以上を踏まえて、2015年度の編集企画案を作成した。
 - 4.4 その他
 - ・「VE論文」の依頼
 - ・「VE関連技法」の連載
 - ・「使いやすいTRIZ研究会」の研究会報告の連載
 - ・今まで発行されたVE資料や研究資料の一覧の掲載
 - 4.5 次回会合について
 - ・日時: 2015年6月26日(金) 10:30～17:00
 - ・会場: 日本VE協会 大会議室
 - ・議題: 2015年度前半の編集実績および後半の編集企画見直しと検討課題について

● VEリーダー養成にご活用ください ●

通信講座＋確認講座＋VEL認定試験

『VEL育成プラン』のご案内

社内でVEリーダーを10名育成する場合のお得なプランです。VEの基礎を学ぶ通信講座と通信講座で学んだ知識を確認しVEL受験に備える確認講座、VEリーダー認定試験の3つがセットになった教育プランです。確認講座では、貴社へ講師がお伺いし、1日(6時間)のVEL受験準備講座を実施いたします。

▽詳しくはこちらから

<http://www.sjve.org/topics/entry/852/>

2015年3月27日までお申し込みいただくと
通常価格の10%引きでご提供いたします。



支部・部会活動予定（3月・4月）

●東日本支部

●全体行事

1.2014年度活動報告会（一般公開）

- ・日時：3月2日（月） 13:30～18:00
- ・会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター（新宿区）
- ・内容：①各部会の活動報告
②特別講演
（サイベックコーポレーション・平林功造社長）
③情報交流会

●マネジメント部会（主査・名古屋純也）

1.第107回研究会議

- ・日時：3月13日（金） 15:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 小会議室
- ・内容：①次回訪問企業の検討
②座学テーマの検討と運営方法
③2014年度の反省

2.第108回研究会議

- ・日時：4月13日（月） 15:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：①2015年度キックオフ
②次回訪問企業の検討
③座学テーマの検討

●VE推進部会（主査・大久保匠）

1.全体会議

- ・日時：4月14日（火） 10:00～12:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：①メンバー紹介
②各分科会の活動テーマ紹介
③東日本支部活動概要紹介

2.VE普及推進研究会

- ・日時：3月10日（火） 10:00～13:00
4月14日（火） 13:00～15:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：VE普及促進を目的とした課題解決の研究

3.VE実践・活用研究会

- ・日時：3月10日（火） 14:00～17:00
4月14日（火） 15:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：VE実践および活用を目的とした課題解決の研究

●マーケティング部会（主査・大内純一/沼澤朋子）

1.2014年度第12会合

- ・日時：3月25日（水） 14:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：2014年度の活動まとめ

2.2015年度第1会合

- ・日時：4月15日（水） 14:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：2015年度キックオフ

●R&D部会（主査・福田浩章）

1.VE7つ道具研究チーム（リーダー・吉見三郎）

- ・日時：3月19日（木）10:00～13:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：検証とまとめの方針、計画の策定
- ・日時：4月24日（金）10:00～12:30
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：2015年度計画確認、まとめの具体化

2.差別化機能の研究チーム（リーダー・野嶋泰資）

- ・日時：3月19日（木） 14:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：差別化機能抽出方法の検証（TOWS分析）と活動振り返り
- ・日時：4月24日（金） 14:30～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：2015年度の活動計画検討と差別化機能抽出方法の検証

3.全体会議

- ・日時：4月24日（金） 13:30～14:30
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：2015年度メンバー紹介と2015年度運営

●ものづくり部会（主査・佐藤尚吾）

1.座学例会（3月は会合なし）

- ・日時：4月22日（水） 13:30～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：2015年度キックオフ

●社会インフラ部会（主査・薄衣光明）

1.企業ケース検討会（4月は会合なし）

- ・日時：3月18日（水） 13:00～14:50
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：ポーター賞分析

2.建設VE研究会（4月は会合なし）

- ・日時：3月18日（水） 15:00～17:00
- ・会場：日本VE協会 大会議室
- ・内容：FASTの技法研究ほか

●西日本支部・東海地区

●中部建設VE研究会(主査・日比 恒)

第230回研究会

- ・日時:3月17日(火) 14:00～17:00
- ・会場:フジタ名古屋支店
- ・内容:カンタンにムリなくVEを適用するしくみ・ツールのまとめ

第231回研究会

- ・日時:4月中旬
- ・会場:未定
- ・内容:2015年度キックオフ

●西日本支部・関西地区

●経営革新を生み出す生き活きVE研究会

1.第106回研究会

- ・日時:3月16日(月)10:00～
- ・会場:ナブテスコ(株)神戸工場 会議室
- ・内容:VE研修教材の検討

2.第107回研究会

- ・日時:4月13日(月)13:00～
- ・会場:三菱電機(株)伊丹製作所 会議室
- ・内容:VE研修教材の検討

●VEツール研究会

1.第82回研究会

- ・日時:3月23日(月)13:00～
- ・会場:西日本旅客鉄道(株)会議室
- ・内容:機能分析の研究

2.第83回研究会

- ・日時:4月20日(月)13:00～
- ・会場:西日本旅客鉄道(株)会議室
- ・内容:機能分析の研究

●つかいやすいTRIZ研究会

1.第35回研究会

- ・日時:3月13日(金)10:00～
- ・会場:(株)クボタ 会議室
- ・内容:TRIZ 模擬研修等

2.第36回研究会

- ・日時:4月15日(水)10:00～
- ・会場:日東電工(株)会議室
- ・内容:TRIZ 模擬研修等

2014年度後期VEリーダー認定試験が終了

合格者数上位10社

受験者数	2,080名	法人名	人数
合格者数	1,652名	三菱電機	307
合格率	79.4%	三菱電機エンジニアリング	97
平均点	79.3点	日立システムズ	82
		フジタ	58
		IHI	57
		三菱重工業	55
		北川鉄工所	50
		日立建機	49
		戸田建設	33
		いすゞ自動車	32

●実践原価企画研究会

1.第82回研究会

- ・日時:3月18日(水)10:00～
- ・会場:オムロン(株) 会議室
- ・内容:原価企画Q&Aの検討

2.第83回研究会

- ・日時:4月15日(水)13:00～
- ・会場:シャープ(株) 会議室
- ・内容:原価企画Q&Aの検討

●サービス領域でのVE適用方法研究会

1.第22回研究会

- ・日時:3月3日(火)13:30～
- ・会場:イオンディライト(株) 会議室
- ・内容:サービス領域でのVE適用実施手順の検討

2.第23回研究会

- ・日時:4月7日(火)13:30～
- ・会場:イオンディライト(株) 会議室
- ・内容:サービス領域でのVE適用実施手順の検討

●コンセプト・メーカーVEレベルアップ研究会

1.第22回研究会

- ・日時:3月5日(木)13:00～
- ・会場:シャープ(株) 会議室
- ・内容:商品コンセプトへの売価・原価・販売予測量などの追加方法の検討

2.第23回研究会

- ・日時:4月3日(金)13:00～
- ・会場:シャープ(株) 会議室
- ・内容:商品コンセプトへの売価・原価・販売予測量などの追加方法の検討

2015年度前期 セミナー開催予定 ※4月1日より受付開始

●2日間でVEの基礎を学び、活用手順を体得する●

理解度・満足度No.1の人気講座 VE基礎講座

●東京地区(日本VE協会)

2015年5月21日(木)～22日(金) / 6月11日(木)～12日(金) / 7月16日(木)～17日(金) /
9月3日(木)～4日(金)

●大阪地区(新大阪丸ビル新館)

2015年7月16日(木)～17日(金) / 9月3日(木)～4日(金)

●参加費(テキスト・教材費、消費税込)

一般:52,650円 / 会員:40,500円 / 学生:20,250円

☆詳細はこちらから

<http://www.sjve.org/events/seminars/>

☆貴社にて講座を開催させていただく「VE基礎講座 出張開催お得プラン」もご利用ください。

<https://sjve.smartseminar.jp/public/file/document/download/100>

●VEスペシャリスト養成講座●

バリュー・マネジメント実践塾 テクニカルスキルコース

講座名	開催日程	講師
業務革新のためのソフトVE	2015年6月18日(木)～19日(金)	大西正規氏
アイデア発想で活用できる創造カトレーニング講座	2015年7月23日(木)～24日(金)	細野浩一氏
開発設計のVE	2015年8月24日(月)～25日(火)	中神芳夫氏
VEブラッシュアップ講座	2015年9月1日(火)～2日(水)	澤口 学氏

●参加費 (テキスト・教材費、消費税込)

区分	1講座	3講座
一般	59,670円	154,440円
会員	45,900円	118,800円
VEL	50,490円	130,680円

●会場 日本VE協会

☆詳細はこちらから

<http://www.sjve.org/events/managements/#te>

●VEスペシャリスト養成講座●

バリュー・マネジメント実践塾 アドバンスコース

講座名	開催日程	講師
VEの原点的思考(機能分析中心)	2015年7月14日(火)	土屋 裕氏
経営者を納得させるVE提案書の書き方	2015年7月28日(火)	望月 実氏、三木孝則氏
VEチームを価値創造集団へと導く エンジニアリング・ファシリテーション	2015年8月21日(金)	大石加奈子氏
VEを組織的に適用するためのマネジメント	2015年8月31日(月)	中神芳夫氏

●参加費 (テキスト・教材費、消費税込)

区分	1講座	4講座
一般	35,100円	126,360円
会員	27,000円	97,200円
VES	29,700円	106,920円

●会場 日本VE協会

☆詳細はこちらから

<http://www.sjve.org/events/managements/#advance>

公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会

〒154-0012 東京都世田谷区駒沢1-4-15 真井ビル6階

電話 03-5430-4488

FAX 03-5430-4431

Email: info@sjve.org

発行人 宮本彰夫

編集 小野玲子

最新情報はホームページを
ご覧ください。

<http://www.sjve.org/>